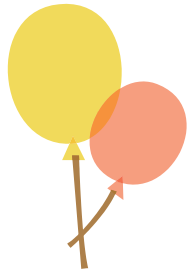


とやま 保険医新聞

2011年 富山県保険医協会
2/25 富山市桜橋通り6-13、フコビル11階
第330号 (076) 442-8000、FAX 442-3033
発行人 矢野博明
(年間購読料6,000円・一部500円)

協会は「介護保険」と「認知症」に 広範な団体と連携して取り組みます



介護保険を考える公開講演会

日時 3月13日(日) 13時~16時

会場 富山国際会議場
2F会議室

立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科教授

講師 服部 万里子 氏

誰もが安心できる介護の実現を目指して

介護現場の困難打開への提言

2000年の介護保険制度スタートから10年が経過し、来年の制度見直しに向けた議論が始まります。

今回の見直しで何がかわろうとしているのか、現場が抱える困難を打開するためにはどうすればいいのか。介護の充実を望む介護従事者・利用者からのメッセージ発信の一端として開催します。

多くの方々のご参加をお待ちしております。

【主催】
介護保険を考える
公開講演会実行委員会

参加無料
どなたでも
参加できます

【共催】
県介護支援専門員協会、県地域包括・在宅介護支援センター協議会、県訪問看護ステーション連絡協議会、県ホームヘルパー協議会、県デイサービスセンター協議会、県介護福祉士会、県社会福祉士会、県認知症グループホーム連絡協議会、水橋福祉事業所連絡会、富山ケアネットワーク、県小規模多機能型居宅介護事業所連絡協議会、県慢性期医療協会、県介護老人保健施設協議会、県老人福祉施設協議会

【後援】

富山県、富山市、県医師会、県歯科医師会、県公的病院長協議会、全日本病院協会県支部、県保険医協会、県薬剤師会、県看護協会、県理学療法士会、県作業療法士会、県言語聴覚士会、県栄養士会、県社会福祉協議会、県社会福祉施設経営者協議会、県医療ソーシャルワーカー協会、県歯科衛生士会、県歯科技工士会、富山の医療と福祉と年金をよくする会、県民主医療機関連合会、県医療労働組合連合会、県身体障害者福祉協会、県障害者(児)団体連絡協議会、県腎友会、認知症の人と家族の会富山支部、日本リウマチ友の会富山支部、日本ALS協会富山支部、難病ネットワークとやま、県医療福祉施設事務長会、高岡在宅NST研究会

県内の在宅医グループ

新川地域在宅医療療養連携協議会、新川地域在宅医療支援センター、メディカルネット屋気楼、在宅医療協議会とやま、富南在宅ネットワーク、在宅医療いみずネットワーク、氷見在宅医療連携会、となみ在宅あんしんネットワーク、南砺市医師会地域医療連携部

会員の皆様へ

- 上記企画は休日の開催です。従業員の方々にも声をかけて今からご予約ください。
- 医療関係者はもちろん、患者・家族や関心のある県民ならどなたも参加できる企画です。会員医療機関にお送りするポスターを、待合室などに掲示して下さるようお願いいたします。

認知症ケア県民フォーラム

日時 5月22日(日) 13時~17時

会場 富山国際会議場
3Fメインホール

<第一部>

地域で支えるネットワーク作り

—かかりつけ医がキーパーソン—

岩手医科大学内科学講座神経内科・老年科分野 准教授

講師

高橋 智 氏



<第二部>

心と心が触れ合うバリデーション

—言語・非言語による意思疎通—

関西福祉科学大学福祉学部 准教授

講師

都村 尚子 氏



<第三部>

患者・家族からの訴え

—患者・山本きみ子さんと夫・雅英さん—

「共感」し合える方法教えます

問題症状が激減！本人と介護者に笑顔が戻った！

参加無料
どなたでも
参加できます

【共催】

富山県保険医協会、認知症の人と家族の会富山県支部、エーザイ(株)、ファイザー(株)

【後援】

富山県、富山市、県医師会、県精神科医会、県歯科医師会、県公的病院長協議会、全日本病院協会県支部、県薬剤師会、県看護協会、県理学療法士会、県作業療法士会、県言語聴覚士会、県栄養士会、県社会福祉協議会、県社会福祉施設経営者協議会、県医療ソーシャルワーカー協会、県歯科衛生士会、県歯科技工士会、県介護支援専門員協会、県地域包括・在宅介護支援センター協議会、県訪問看護ステーション連絡協議会、県ホームヘルパー協議会、県デイサービスセンター協議会、県介護福祉士会、県社会福祉士会、県認知症グループホーム連絡協議会、水橋福祉事業所連絡会、富山ケアネットワーク、県小規模多機能型居宅介護事業所連絡協議会、県慢性期医療協会、県介護老人保健施設協議会、県老人福祉施設協議会、富山の医療と福祉と年金をよくする会、県民主医療機関連合会、県身体障害者福祉協会、県障害者(児)団体連絡協議会、県腎友会、日本リウマチ友の会富山支部、日本ALS協会富山支部、難病ネットワークとやま、介護労働安定センター富山支所、県医療福祉施設事務長会、高岡在宅NST研究会

県内の在宅医グループ

新川地域在宅医療療養連携協議会、新川地域在宅医療支援センター、メディカルネット屋気楼、在宅医療協議会とやま、富南在宅ネットワーク、在宅医療いみずネットワーク、氷見在宅医療連携会、となみ在宅あんしんネットワーク、南砺市医師会地域医療連携部

国民は先行き不安になっている。内需創出には、思い切った医療・介護・社会福祉関連への財政投資が必要である。この分野への新規参入や投資が増えれば、雇用も拡大し賃金もアップする。北欧諸国にしろ、貧富に係らず病や老後、子育てに安心できる社会になれば、自ずから国民の財布のひもは緩む。日本人の品質に対する目は生産者・消費者ともに厳しく、メイドインジャパンは高品質の代名詞ともなっている。医療福祉分野のロボット技術や高度医療機器の最先端技術で世界をリードする日本はまだまだ頑張れる。先を見越した政府の経済政策を望む。(T・M)

基礎的財政収支の黒字化と財政再建には消費税増税しかないという。本当にそうだろうか？

今の政府は目先の財政再建にとらわれ過ぎて大局的な視点に欠けているのではないか？

国内外に大きな金融資産を持つ国なのにそれを経済回復に使わず、国民に増税を強いて消費を締め付けている。さらに緊縮財政でデフレを長引かす。それでも景気が回復すれば税収アップとなるが、今後輸出が爆発的に増える可能性は薄い。わが国の景気回復には内需の創出しかない。

